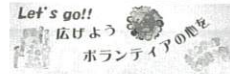


2019年活動スローガン 「Let's go!! 広げよう ボランティアの心を」



報 告

〈バングラデシュ〉

●トイレ寄付

- ・大阪 I ゾンクラブ様よりカパシア郡の学校にトイレを1基
- ・神戸学院大学トイレ建設メンバー同様よりカパシア郡の学校にトイレを1基
- ・有志の方よりカパシア郡の学校にトイレを2基

●その他の寄付

- ・仲島正教様よりカパシア郡の学校に図書200冊
- ・朝日花様よりカパシア郡の学校に図書200冊



■ バングラデシュ・トイレ建設ご協力をお願い ■

トイレ1基(井戸付)10万円

バングラデシュの農村の学校では、トイレの備わっていないところが多くあります。生徒達が毎日学校へ通い安心してトイレを使えるよう、トイレ設置のご協力をお願い致します。

イベント情報

10/23 (水)

秋のチャリティバザー

場所: 本協会ボランティアセンター (伊丹市)
時間: 10:00~14:00



● チャリティバザーにご協力ください ●

バザーで販売する品物のご提供をお願いしています。食器・なべ類、寝具、タオル、衣料、食料品、石鹸、カバン、おもちゃなどいつでも受け付けています。ご近所でしたら引き取りに伺います。事務所までご連絡下さい。

☆取り扱っていないもの☆ 家具、電化製品、使用済み食器等、自転車



編集後記

2019年5月1日、平成が終わり令和の時代が始まりました。1ヶ月前から準備はしていましたが、やはり5月は年号の訂正など、色々忙しく過ぎていきました。そして6月に入るとそんなバタバタも一段落し、やっと新しい時代が始まったのだなぁと実感してきました。「今年の目標」ならぬ「今年号の目標」、そんな事も考えてみたいと思います。

会員募集

本協会の活動は皆様の会費の他、募金や寄付金、バザーなどのチャリティイベントの収益金によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

●正会員

一般会員 年額1口 6,000円
特別会員 年額1口30,000円

●DCEF会員(教育里親)

1ヵ月1口 2,000円

※送金方法は現金書留又は郵便振替でお送り下さい。

郵便自動払込方法も受付けています。

郵便振替・口座番号

01130-1-59586

※その他、バザー用物資によるご協力もよろしくお願い致します。

会員数: 一般会員 702名

DCEF会員 696名

(7月1日現在)

2019年 行事予定

7月現在

8月	3日(土)~10日(土)	ファミリーツアー	バングラデシュ	
	17日(土)	チャリティバザー	南小フェスタ	伊丹市
9月	22日(日)	ノクシカタ販売	三鷹国際交流フェスティバル	東京都
10月	23日(水)	秋のチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市
11月	3日(日)	チャリティバザー	であい市門戸厄神	西宮市
	8日(金)	チャリティバザー	垂水駅前東広場	神戸市
	19日(火)	チャリティバザー	JR六甲道南公園	神戸市

※行事予定はホームページ上にも掲載、随時更新しています。

国際エンゼル協会は1982年伊丹市において設立され、「世界に愛を」をスローガンに、発展途上国への理解と協力を通して国際間の友好を深めると共に、すべての人々が共存できる平和な世界の実現に寄与することを目的としています。

発行者



特定非営利活動法人

国際エンゼル協会

〒664-0862 兵庫県伊丹市若菱町6丁目10番地
TEL.072(784)7504 FAX.072(784)4608
Home Page ● <http://www.angel-ngo.gr.jp>
e-mail ● post@angel-ngo.gr.jp

ANGEL NEWS

通巻188号
2019.07

① バングラデシュ報告

② 春のチャリティバザー



バングラデシュ農村 (故川村百合子撮影)

令和の時代も変わらずに

国際エンゼル協会は1982年11月に故川村百合子と川村の志に賛同する友人達が集まって誕生しました。当初は近くの福祉施設へのボランティアを派遣したり、チャリティバザーの収益金をユネスコを通じて海外に送っていましたが、「援助したお金が役立っているか直接自分達の手で確かめたい」との思いから、1984年より途上国と直接かかわる活動がスタートしました。

初めてバングラデシュを訪れた川村は終戦直後の日本を思い出したそうです。この国に教育が行き渡ればきっと良くなる、たくさんの貧しい子ども達を見て何とか助けたいと思い、まず児童養護施設を開設しました。当初ダッカの借家に12人の子供を集めて始まりましたが、その後ガジプール県に8000坪の土地を購入してエンゼルホームの建設が始まりました。そして、平成元年(1989年)1月10日付けの毎日新聞の「ひと」の欄に川村百合子を取り上げられました。その時全国各地から「何か出来ることがありますか? 協力します」と支援や協力の声が多く寄せられ、その多くの方の声に後押しされて平成の時代は次々とプロジェクトが広がっていきました。

あれから30年バングラデシュも目覚ましく発展してきました。エンゼルホームの子ども達はもとより奨学金を受けた学生達、職業訓練所、農業研修センター、識字教室で学んだ女性達、数えきれない人達を助けてきました。また今日まで本当に多くの方が長くご支援ご協力くださっていることに感謝いたしております。発展してきたとは言えまだまだ支援の必要な子ども達はたくさんいます。新時代になっても「世界の子供達に、夢と希望と愛を!」これからも支援していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

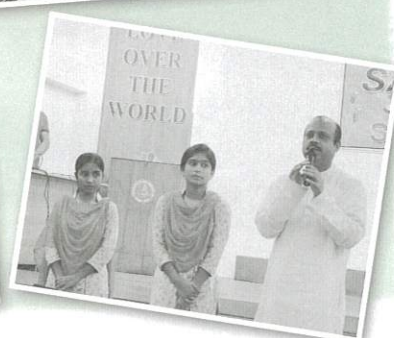
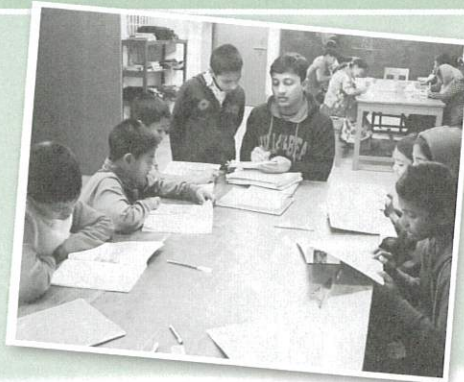
代表理事 東村 真理子

～バングラデシュプロジェクト2019年上半期報告～

国際エンゼル協会がバングラデシュへの支援を始めて今年で34年目となります。現在では児童養護施設エンゼルホームをはじめ様々なプロジェクトが行われています。それぞれのプロジェクトの2019年上半期の活動報告をします。

児童養護施設エンゼルホーム

エンゼルホームでは新しく2名の女の子が仲間入りしました。また2名の女の子が中学を卒業しホームを巣立っていきました。彼女たちは全国統一試験(SSC)を経て、現在は高校に通っています。その他男女計40名の生徒が共同で生活しており、毎日勉強や習い事などを頑張っています。



DCEF (発展途上国教育基金)

経済的な事情から学校に通う事ができない子ども達へ「就学の機会と将来の希望」を持ってもらうために始めた奨学金制度も今年で30年を迎えました。2019年は3,800名の学生を支援する予定となっており、5月現在で1,588名の子ども達へ奨学金を手渡しました。



スリジョニ

家庭の事情で学校に通っていない子ども達(今年度21名)に勉強を教えています。



クリニック

クリニックには毎日たくさんの患者さんが来られています。月当たり1,500名から2,000名の方が来院され、地域医療の一助となっています。



WWC (女性自立センター)

この半年で約2,500点を超えるノクシカタ刺しゅう製品を作成し、当協会にフェアトレードで送られてきました。それらの製品は当協会ボランティアセンターの他、各地のバザーやノクシカタ販売で販売しています。



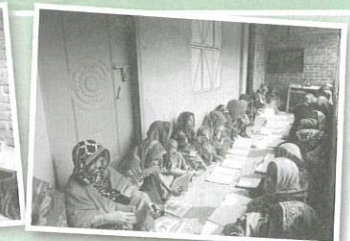
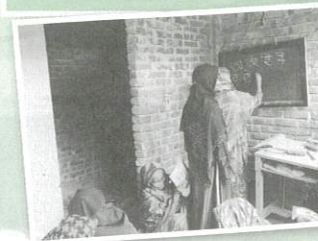
TTC (職業訓練所)

女性の自立に役立つように、縫製やミシン、ノクシカタ刺しゅうなどを教えています。3カ月のコースを年4回実施しており、今年は70期生27名、71期生50名が無事卒業していききました。7月より72期目が始まります。



WEP (識字教室)

農村部では学校に行く事ができなくて、字の読み書きができない女性が多くいます。そういった方を対象に識字教室を開催しています。今年も6カ月のコース、1クラス30名、計180名の女性が卒業しました。7月より新たに180名の女性が勉強しています。



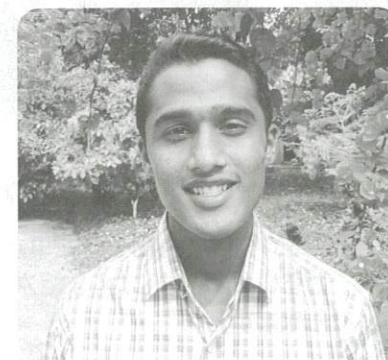
YURIKOエンゼルスクール

今年は216名の生徒が学んでいます。1月には運動会がありました。また4月のバングラデシュ独立記念日には文化祭を行い、盛大にお祝いしました。昨年は県のスポーツ大会でも優秀な成績を残しています。



No.32

エンゼルホームの子ども紹介
ジャヒッド君
Md.Zahid Hasan Sakib
(16才)



ジャヒッド君は彼が6才の時に父さんを病気で亡くしました。彼は4人兄弟で、お母さんが一人で家計を支えていたので生活が困窮し、7才の時にエンゼルホームで生活することになりました。

エンゼルホームではすぐにみんなと仲良くなりました。小さな頃は木登りが好きで大きな木にスルスルと登ったのはいいのですが、下を見たらあまりの高さに怖くなり降りられなくなったこともありました。

現在YURIKOエンゼルスクールの10年生で、学校から帰ると宿題を終えてからホームの子ども達とサッカーやクリケットをして遊んでいます。将来は医者になりたいというジャヒッド君、これからもがんばって勉強に励み夢を叶えてください。

◎ジャヒッド君にいろいろ質問をしました

Q 一番好きな科目は・・・数学

Q 好きなスポーツは・・・クリケット

Q 最近困ったことは・・・つまらないことで友達とけんかをして気まずくなったこと

Q 日本について知ってることは・・・野球・相撲・柔道が人気がある。春には桜がたくさん咲いてきれい

Q 人生で一番大切なことは・・・将来の夢を叶えるため毎日コツコツ努力すること

第71回

4/10(水)

感謝いっぱい!!

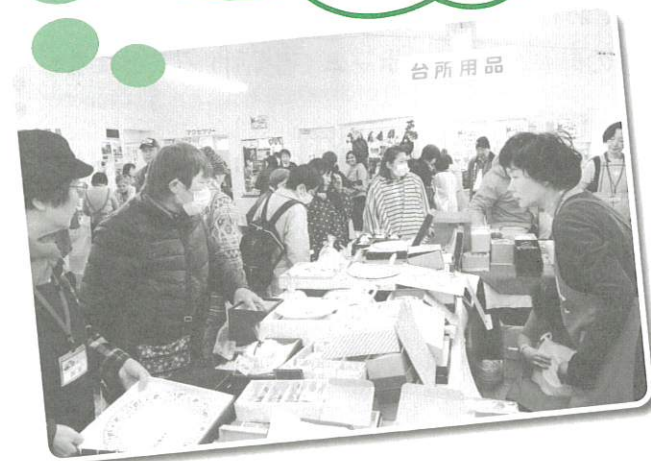
春のチャリティバザー

ご協力ありがとうございました

バザー当日は朝からあいにくの雨でしたが、それにもかかわらず多くのお客様とお手伝いの方々が来て下さって楽しく過ごすことができました。バザー開催にあたり品物を寄付して下さい下さった方々、準備にあたって下さったボランティアの皆様、心より感謝申し上げます。

「雨やからどうしようかな?と思案してたけど家に居ても落ち着かないから来ました。やっぱり来て良かったです!いいものがたくさんあるし、ゆっくり買い物を楽しむことが出来ました」
(60代女性)

「今日はゆっくり選べるので嬉しかったです!一つだけと思ってたけどたくさん買ってしまった」
(50代女性)



「買い物した品物を自転車まで運んでもらい助かりました。また次のバザーも来ます」
(70代女性)



次回バザーは
10/23(水)です

焼きそば



みんなを笑顔にさせるおいしい
模擬店をめざして



今回春のチャリティバザーは記憶に残る雨のバザーでした。そのような中でも足を運んで下さったお客様には本当に感謝しています。例年ですと、「タコ焼き最後尾」のプラカードを持ち、「もう少しで焼けますからお待ちくださいネ」とお声掛けをしています。今回はほぼ待つことなく買っていただき、すぐにテントの中に座って食べていただけました。他にも、うどん、焼おにぎり、焼きそば、ぜんざい、赤飯、カレーをおいし

そうに食べている方々の顔を拝見し、こちらも嬉しくなりました。

71回目となるチャリティバザー、模擬店も歴史を重ねてきました。種類・数量も多くなりました。材料費は最初のバザーの時からボランティアの方達が出し合い、それが今も伝統となり材料費の寄付と野菜など品物の寄付をいただいて成り立っています。バザーの準備の時に一度は皆様の前で寄付のお願いをします。そうしますと、さりげなく大勢の方々から『心得ているよ。お手伝いできないけどこれ使って』とずっと渡して下さいます。いつも本当に皆様の真心に感謝しています。これからも模擬店では、感謝の気持ちを込めて、お客様の笑顔につながるお食事を提供させていただきます。
(模擬店責任者)



Bangladeshから感謝のメッセージ



Bangladesh
現地責任者
アジズル・バリ

皆さま、こんにちは。春のバザーを無事終えて本当にお疲れ様でした。1月から毎日準備していたことの裏に、心の底からBangladeshの子ども達にあふれていた愛の心を、私達は遠くから感じています。本当に感謝しております。

Bangladeshでの皆さんの活動も34年に入りました。大勢の子ども達、また奨学金をいただいて勉強していた学生達も自分の夢を皆さんのおかげで叶えることができます。これからもよろしくお願いします。ありがとうございました。



第22回 楽しいボランティアひろば 6月9日 SUN

毎年恒例となりました「楽しいボランティアひろば」が今年も本協会ボランティアセンターにて開催されました。様々な催しが行われる中、今年はバングラデシュより現地スタッフが参加し、幅広い世代の方々と楽しく交流しました。これからも本協会の活動を多くの皆様に知っていただき、ボランティアの輪が広がりますよう願っています。

お楽しみイベント

楽しい腹話術に
みんなで大笑い!



手芸品 展示販売

手作りカバン
が大人気!



バングラデシュ 紹介



写真や生活用品を
展示しバングラデ
シュの様子を紹介



ワークショップ 多肉植物 寄せ植え

それぞれ自分
流にアレンジ!



紙芝居を真剣
な表情で見る子
ども達



子ども コーナー

模擬店



チャリティ タロット 占い

お楽しみ市

この他にも「当協会の活動紹介」
「ノクシカタ刺しゅう製品展示販売」
「サリーの着付け」などがありました



DCEFだより

奨学生からの便り —バングラデシュ



こんにちは。私は7年生の時に国際エンゼル協会の奨学金をいただける機会に巡り合うことができました。私の家はとても貧しく、学校に通い続けることが難しい状況でした。そんな時に幸運にも国際エンゼル協会の奨学金と出会い、学校に通い続けることが出来るようになりました。

今年、私は大学生になります。(バングラデシュは小学校5年、中学校5年、高校2年) 将来の夢は、医者になり自分達が生まれ育った村に病院を建てることです。この夢に向かって、今は一生懸命勉強しています。いつか必ずこの夢を叶えてみせます。皆様の支援が私の励ましとなっています。国際エンゼル協会の皆様のお力添えに、本当に感謝しています。ありがとうございます。



タンビン・サラ
(県立カントメント高校2年生)

DCEF (ディセフ)とは...

[Developing Country Educational Fund]

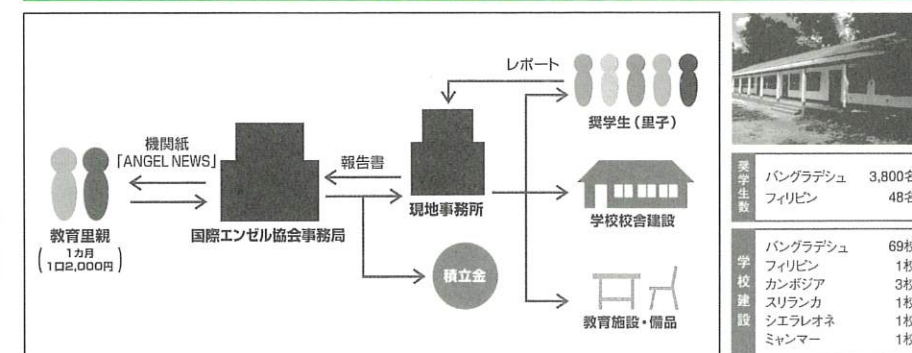
経済的に恵まれない発展途上国の子供達に教育援助を行う里親制度。奨学資金の供与や学校校舎の建設・設備の充実、農村女性を対象にした識字教室等を行っています。また、バングラデシュ以外に、フィリピン、スリランカなどの子ども達にも支援しています。

DCEF会員募集のお願い

バングラデシュ、フィリピンなどの発展途上国には、経済的な事情から学校に通うことができない子どもが今もたくさんいます。私達は、限らない可能性を秘め、大きな夢を抱いている子ども達へ「就学の機会と将来の希望」を与えるため、奨学金制度を続けています。より多くの子ども達へ支援の力が届くよう、皆様のご協力よろしくお願いします。



募金の流れ



DCEFでは1対1の里親支援ではなく皆様から頂いた支援金を奨学金として多くの子ども達へ渡しています。子ども達は奨学金をもらえる事で学校に通い続ける事ができ、卒業後は医者や検事、教師など様々な職業につき社会で頑張っています。是非皆様のご協力をお待ちしています。詳しくは本協会事務所までお問い合わせ下さい。

月額(1口) 2,000円